

<全体分析>

試験時間 2科目120分

解答形式

選択, 記述, 論述, 描図

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

小問数は昨年に比べて増加したが, 論述量は減少した。

詳細な知識を要求する問題や難度の高い考察問題が減少した。

出題の特徴や昨年との変更点

知識問題, 考察問題ともに難度の高い問題が出題される。

試験時間に対する問題量が多い。

その他トピックス

昨年の問題と同じ題材を扱った問題が多かった。(第2問で扱われた酵素反応速度は昨年の第1問でも扱われており, 第1問で扱われた細胞骨格とモータータンパク質は昨年の第2問でも扱われていた。)

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	選択 記述 論述 描図	細胞 系統 代謝	生物基礎 生物	問6 ネンジュモ繊維の末端にある異型細胞は, 隣接する栄養細胞が1つしかないため, 両側に栄養細胞がある異型細胞に比べて, 物質交換の速度はおよそ半分になると考えられる。	やや易
II	記述 論述 描図	免疫 遺伝子 酵素	生物基礎 生物	問3 赤血球が凝集する理由を問われているので, 複数の赤血球が1つの塊になっている様子を図示した方がよいだろう。 問6 K_A や K_B はミカエリス定数と呼ばれ, その値が小さいほど酵素に対する基質の親和性が高いことを示す。	やや易
III	選択 記述 論述	細胞 タンパク質	生物	問7 原形質流動は, 細胞全体に栄養分や細胞壁の前駆物質などを輸送することで, 細胞の拡大に影響を与えていると考えられている。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・教科書レベルの基本的な知識を, 正確に論述できるようにしておく。
- ・実験考察問題の出題頻度が高いので, 実験結果などを要点をまとめて論述する練習を重ねておく。
- ・試験時間に対する問題量が多いので, 問題演習を重ねて問題文の読解や解答作成の速度を上げておく。